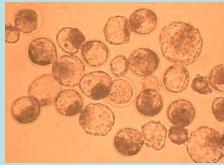


# 産業利用に向けた体細胞クローン牛に関する技術開発と調査

体細胞クローン牛の種畜利用とは？



クローン胚

受胎～分娩

胚移植



クローン子牛

ほ育・育成



クローン種雄牛

(第1世代)

生産

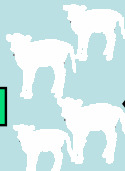


増殖

クローン牛産子

(第2世代)

人工授精



## 研究内容

1. 体細胞クローン牛の安定かつ効率的な生産技術の確立

(1) 遺伝子情報を活用した正常に発育するクローン胚の評価・選別法の開発

(2) クローン牛における分娩・新生子管理技術の確立

(3) 体細胞クローン牛における子牛生産効率の改善

2. クローン牛産子および生産物の安全性調査

(1) 体細胞クローン牛産子の健全性調査

(2) クローン牛産子由来畜産物の安全性に関する試験

課題検討委員会

・研究等への助言・指導  
・データの点検・評価

達成目標

○体細胞クローン牛の生産効率の改善に寄与する技術の確立

○クローン牛の産子やこれら由来乳肉の健全性・安全性に係るデータの蓄積

課題は・・・

○クローン牛第1世代の低い生産効率の克服

○第2世代となるクローン牛産子の健全性やそれに由来する乳肉の安全性に関するデータの収集強化

期待される波及効果

○クローン家畜の種畜としての活用等、産業利用の条件整備

○再生医療や動物工場による有用物質生産等バイオ産業で体細胞クローン技術が広範に活用されるための基盤構築